

第19回 旭区大なわとび大会

2月1日(土)、旭スポーツセンターで第19回旭区大なわとび大会が開催されました。旭区の16地区から、小学生低学年、高学年、大人が混ざった混合チームの合計36チーム、延べ311名が参加し、熱戦を繰り広げました。

開会式と準備体操を終え、いよいよ競技が開始されました。まずは低学年の部から始まり、高学年、そして混合の順で進んでいきます。体育館には、縄が床を叩く音と「1、2、3、4...」という元気な掛け声が響き渡ります。練習ではなかなかうまく跳べなかったチームも、本番では集中力を発揮し、次々と記録を更新していきます。



大会結果

小学校低学年の部		小学校高学年の部		混合の部		
1位	二俣川ニュータウン	149回	1位	旭南部	83回	
2位	左近山	58回	2位	笹野台	63回	
3位	旭南部	46回	3位	希望が丘	61回	
				1位	旭南部	165回
				2位	二俣川ニュータウン	121回
				3位	白根	60回

行事予定

- ◆ 旭区こども写生大会
 - ◆ 旭ふれあい区民まつり「竹細工教室」
 - ◆ 旭区親子野外自然体験活動
 - ◆ 旭区大なわとび大会
- 6月21日(土) よこはま動物園ズーラシア
- 10月19日(日) 旭区役所周辺
- 11月1日(土) こども自然公園、
11月29日(土) 同青少年野外活動センター
- 令和8年
1月31日(土) 旧若葉台西中学校(予定)

私たち旭区青少年指導員は区内19地区の集まりです。今回95号では半数の10地区の活動をまとめてみました。各地区いろいろな活動を通じ地域の子どもたちを見守っています。ぜひ皆様のお住まいの地区の催しに参加してみてください。



あ

さ

ひ

青指だより

第95号

—令和6年度活動記録—



発行
旭区青少年指導員連絡協議会
編集
広報部会
事務局
旭区役所地域振興課
TEL:045-954-6099

第34回

旭ふれあい区民まつり

10月20日(日)、旭ふれあい区民まつりが、鶴ヶ峰商店街協同組合駐車場、区役所、公会堂など複数の会場で開催されました。

青少年指導員は、毎年、全市統一行動キャンペーンと竹細工教室を行います。

キャンペーンでは、全市統一行動標語「子どもの笑顔は社会のたから」のチラシやウェットティッシュなど約1000セットを配布しました。

竹細工教室では、「竹トンボ」「竹の花びん」「竹のけん玉」「竹ぼっくり」「ぶんぶんまる」「竹笛」の6つの製作指導を行いました。地域の竹を使い、鋸(のこぎり)や小刀、錐(きり)、なたなど、普段あまり使うことのない道具を使っての工作でしたが、青少年指導員が、ひとりひとりにつき、作り方を指導しながら作りました。小さい子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方が、楽しそうに作品を作っていました。完成した「竹ぼっくり」で歩いたり、「竹トンボ」を飛ばしたり、「竹笛」を鳴らしたり、「花びん」を自慢げに見せ合ったり、テントの周りは、嬉しそうな笑顔にあふれました。



旭区親子野外自然体験活動

令和6年度は、11月2日(土)と23日(土)の2回にわたり開催しました。1回目は生憎の雨模様となり、予定していたモルックは中止となりましたが、ウォークラリーと野外炊事を実施しました。雨の中でも青少年指導員たちは予定通り会場に集まり、イベントの準備をしていた忙しい姿が印象的でした。青少年指導員たちは丁寧に子どもたちに薪割りや火起こしの方法を教え、子どもたちも指導を受けながら実際に体験をしていました。冷え込みが厳しい季節の中、青少年指導員が準備した豚汁などの食事で心まで温まりました。普段の生活ではなかなか体験できないアクティビティを通じて、親子や家族間の絆を深める機会が提供され、笑顔があふれる一日となりました。

2回目は天気にも恵まれ、冷たい風が冬の訪れを感じさせる中、広い園内を歩きながら親子で大自然を満喫しました。その後、ドーナツ広場で予定通りモルックを楽しむことができました。冬の冷たい風

が吹く中、子どもたちも大人も真剣な表情でモルックのスコアを競い合い、笑顔が絶えませんでした。

2日間の活動を通じて、参加者の笑顔や感想から、多くの方々に満足していただけたことを大変嬉しく思います。これからも自然を感じながら楽しめる活動を企画し、さらに多くの笑顔に会えるよう努めてまいります。

ウォークラリー



火起こし

地区だより

白根地区

地域清掃活動

白根地区では、青少年指導員主催行事として、小中学生達との交流を目的に、8月の地域清掃活動と3月のモルック大会を開催しております。

地域清掃活動は、毎年夏休みの思い出づくりとして夏休み最後の土曜日午前に行っており、今回で20回目となりました。

今年度は、8月24日(土)白根公園にて小学生11名、中学生6名、先生や地域団体有志の大人16名が集合して、青少年指導員と3グループに分かれて、白根公園・白根地区センター・鍛冶久保公園それぞれの周辺のゴミ拾いを実施しました。

子どもたちが競うようにゴミを見つけては我先に拾う様子はゲームとして楽しんでいるかの様でした。

拾ったゴミは種類別に分別し、8袋分となり、最後に小中学校の両校長先生より、子どもたちが暑い中元気に地域の美化に貢献した事をほめていただきました。

連日猛暑日が続き、ためらいがある中での実施でしたが、体調を崩すことなく無事に終了しました。

とはいっても、かつてのように7月下旬～8月中旬が暑さのピークだった頃とは違い、猛暑が長く続く近年、イベント開催時期の見直しが今後の課題となりました。



若葉台地区

ペットボトルロケットを飛ばそう！

7月15日(月)に若葉台地区センター主催、若葉台地区青少年指導員連絡協議会の運営で「ペットボトルロケットを飛ばそう」が行われ、当日は20組の参加がありました。

ペットボトルロケットの作成は、一人で頑張る子、保護者の方と協力して作成する子と様々でしたが、自分なりの装飾もして個性豊かなロケットを作っていました。

今年のペットボトルロケットは例年に比べてとてもよく飛びました。ペットボトルロケットが描く放物線はまるでドジャースの大谷選手のホームランのようで圧巻でした。

水びたしになりながらも夢中になって飛ばす子もいて、PTAなど地域の皆さんにも参加して頂いて、大勢で笑顔あふれる楽しい催しとなりました。



鶴ヶ峰地区

どんど焼き

鶴ヶ峰地区では、主催事業、連携派遣事業など多くの行事があります。なかでも、お正月の風物詩となっているのが、どんど焼きです。令和7年は、1月12日(日)に鶴ヶ峰公園で開かれました。

今年度は、コロナ禍で中断していたお団子の提供を5年ぶりに再開しました。朝から青少年指導員は、竈に薪を焚べ、湯沸かししてお米を蒸したり、杵を握るつき手と返し手の息の合った餅つきなどの準備作業に打ち込みました。午後に松飾りや注連縄(しめなわ)、古いお札などでできた山に、火入れが行われました。勢いよく立ち上がる炎に参加者から感嘆の声が上がりました。

「御神火(ごじんか)」が下火になった頃合いに、子どもも大人も一年の思い思いの願いを込め、長い竹竿の先に付けたお団子を焼く姿が印象的でした。



今宿地区

第21回「今宿ふれあいキャンプ」

今宿地区では毎年夏休みの時期に、お互いの交流を目的として、地区内3校の小学生を対象としたキャンプを今宿連合会館で行っています。今年は小学生25名が参加しました。

料理としては、カレー、飯ごう炊飯、ナン作りを体験し、夕食でおいしくいただきました。特にナン作りでは小麦粉からの手作りに子どもたちの真剣に取り組む姿勢が感じ取れました。

「高齢者とのふれあい」では、地域のご年配の方と、輪投げ、ブーメラン作りを楽しみました。この交流は「元気な街づくり」の一環として毎年実施しています。他、今宿一長い糸電話、水風船遊び、スイカ割りを行い、夕食後は打上花火やキャンプファイヤーで締めくくりました。

子どもたちからは、「とても楽しかった」「夏休みのいい思い出になった」との声をもらいました。来年度多くの子どもたちに参加してもらえるよう、さらに充実したキャンプにしたいと思います。



左近山地区

左近山の活動

左近山地区では毎年子どもたちとグループを作り、夏に開催される団地祭に参加しています。今年は15名のメンバーが参加し清涼飲料水の販売と舞台イベントで「〇×クイズ」を行い、その問題作成からクイズの出題を子どもたちメンバーが行いました。

また令和5年7月より地区でモルック競技を紹介するためモルック体験を月1回継続中です。地元老人会に広がり始めました。

私たち青少年指導員の活動は小学校の協力が不可欠で、できるだけ負担をお掛けしないよう工夫して協力を頂いております。



市沢地区

市沢地区活動報告

市沢地区青少年指導員は市沢小おやじの会・ペンギンおやじの会との合同企画が多く、子どもたちとのふれあいを大切にとの思いで毎年6月に「ほたる観賞の夕べ」を開催しています。今年度は沢山のほたるが飛び交う姿に感動することができ、参加者約70名が市沢の自然に感謝する日となりました。

6月中旬には地引網ツアーを開催し、総勢55名の参加者と共に南房総での地引網を体験することができました。鯛やイナダ・ひらめ等のさかなを取り、子どもたちに食育を通した体験を喜んでもらいました。

青少年指導員として地域の盆踊り大会ではかき氷を販売。また、神社例大祭・市沢小フェスタではバナナチョコを販売し、子どもたちに喜んでもらっています。

毎年1月の第2土曜日には、市沢っ子餅つき大会を開催しています。未就学児を始め子どもたちに餅つき体験を楽しんでもらっています。

また、7月と8月の夏休み期間に市沢地区青少年指導員主催による西谷中教職員・西谷中PTA・市沢小教職員・市沢小PTAとの合同パトロールを実施し、地域の見守りに貢献しています。



旭中央地区

夏の恒例 夕涼み会



夏休みに入ってまもなく、旭中央地区恒例の夕涼み会を実施しました。コロナ前までは子ども会が主体で行っていた行事ですが、危険な火を扱うこともあり青少年指導員が引き続き実施することになりました。

行事は3部構成で、モルックなどでの外遊び体験、カセットコンロを使用したポップコーンやホットドックづくり(おやつタイム)、そして日が暮れてのお楽しみ花火大会です！



おやつタイムは大人が中心です。(食い意地が張っている?)子どもたちは遊び疲れた人から、棒つきアイス、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥を頬張っていました。

そして最後に花火大会です。火をつけることもできない子どももいれば、火のついた花火を振り回す子もいました。日が落ちてからは、中高生向けの吹き出し花火の10連発でした。みんなそれぞれ日頃できない経験をしてもらえば、大変嬉しいです。



川井地区

持続可能な取組み

学校・家庭・地域連携事業の一環として、都岡中学校と3つの小学校(都岡小学校、川井小学校、上川井小学校)エリアでゴミ拾いを行う“地球環境クリーン作戦”を、昨年より暑さ対策のために12月に開催、今年度は7日に行いました。5つの町内会、PTA協力の下、小学生52名、中学生191名、総勢396名でそれぞれの地域の清掃活動を行いました。

クリーン作戦は、今回で22回目を迎え、子どもたちは仲間どうし笑顔で空き缶や、たばこの吸殻等を拾いました。ゴミを拾う人はゴミを捨てない。町内会のレクリエーションや地域のお祭り等の人との関わりの中で、自分らしく生きていくという想いが一層広がっていけば良いと願っています。



二俣川ニュータウン地区

モルック大会

青少年指導員連絡協議会主催のモルック大会が、12月15日(日)冬日和の中、今宿中沢公園で開催されました。大人も含めて30名程の参加で楽しく盛り上がったイベントとなりました。

午後1時に集まり、最初にモルックのルール説明と実演を行い、2コートに分けてゲームを始め、それぞれチーム対戦で進めて行きました。勢いよくスキットルを弾く人や惜しくも狙った通りに投げられず悔しがる人、50点オーバーして点数が戻り残念がるなど、みんな、最後はもう1ゲームしたいとリクエストもありました。

終了後に参加賞を受け取り、嬉しい笑顔で大会を終えることができました。来年度以降も楽しいイベントを企画致しますので、是非ご参加ください。



旭北地区

モルック研修会

私たち旭北地区の青少年指導員は10月に、地域の子どもたちとモルックの練習試合を行いました。モルックはルールが簡単で、狙いを定めて投げる技術や戦略が求められるものの、子どもから大人まで楽しめるスポーツです。

まず基本的な投げ方を練習し、狙ったピン(スキットル)を倒すコツを学びました。練習試合では、子どもたちは作戦を考えながら真剣にプレーし、仲間と協力する姿が印象的でした。ミスをしても励まし合い、試合が進むにつれて成長を感じられました。最終的に子どもチームが優勝し、大きな歓声が上がりました。

試合後、「もっとやりたい!」という声が多く上がり、モルックの魅力を実感しました。今後もこうした活動を通じて、子どもたちの成長を支えていきたいと思います。

